




## 編集後記

	<p>「人は何から学ぶのか？」7：2：1の法則と呼ばれるものがあるそうだ。70%：経験，20%：周囲からのアドバイス，10%：研修や読書。すなわち座学よりもOJTが有効であり，自らの経験が最も効果的ということだ。自らに照らしてみれば，合点がいく。本で勉強したことより恩師の言葉は重く，自ら手を動かして得た失敗の経験に勝るものはない。知識は実践し経験してこそ，血となり肉となる。一日中，ディスプレイとにらめっこしているのは止めて，生身の人間と討議し，たくさん失敗してみませんか？ (稲田)</p>
	<p>No. 1 &amp; Only One 製品をタイムリーに提供することが求められる中，開発者は短い開発期間で試行錯誤しながら努力し，開発に取り組んでいます。工作機械・メカトロ事業の製品およびその高い技術力を本誌を通して多くのお客様，社内の方々に知ってもらい，興味を持って頂きたいです。今回，編集委員をするのは初めてです。要領を見ながら自分なりに原稿のチェックをしましたが，事務局の校正結果を見て，このような見方でチェックするのかと勉強になりました。次は編集委員として，もっと執筆者の役に立てるように努めたいと思います。 (野津)</p>
	<p>本誌編集委員となって10年を超えました。今回はCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた鋳造技術を掲載していますが，これまでには鍛造や樹脂成形技術・熱処理技術などの開発についてもご紹介してきました。IoTやAIなどで世の中が大きく変わろうとしています，その基盤となる技術を追求しモノづくり革新に挑戦する技術者の方々に改めて敬意を感じます。多忙にも関わらず投稿して下さいたことへの感謝の気持ちを忘れず，これからも弊社生産技術者の日々の努力と技術力を世の中に発信し共感して頂くことを使命として努めたいと思います。 (藤田)</p>

**JTEKT ENGINEERING JOURNAL**

No.1015 (2017)

発行 2017年10月

<p>編集委員会 委員長 近藤則人 委員 稲田 豊 石橋仁也 榎 俊光 永田富夫 山下龍城 加藤豪哉 井上広幸 鈴木恵治 岩田 孝 廣中哲也 保坂亮平 勝田 守 野津一恵 藤田大介</p> <p>事務局 中野 淳 奥村朋子 蔵留昭司 野口絵里加</p>	<p>発行人 瀬川 治彦 編集人 編集委員会 発行所 〒634-8555 奈良県橿原市十市町333番地 Tel 0744 (24) 5964 Fax 0744 (22) 8015</p> <p>印刷・製本 デジタル総合印刷株式会社 〒546-0002 大阪市東住吉区杭全2-10-1</p> <p>© COPYRIGHT 2017 BY JTEKT CORPORATION</p>
--	--

お願い：JTEKT ENGINEERING JOURNALの送付先の変更あるいは取消に関するご連絡は下記へお願い致します。  
営業本部 営業統括部 Tel 06(6245)2220 Fax 06(6244)0814

このジャーナルは，ジェイテクトのウェブサイト上でもご覧いただけます。

<http://eb-cat.ds-navi.co.jp/jpn/jtekt/tech/ej/index.htm>

